

メルマガ発行にあたって

一昨年、我々が堀川高校を卒業して50年経過、今年
は古希を迎える年齢となりました。11月7日（土）
12時30分から、「古希同窓会」を河原町御池ホテル
オークラで開催します。

今まで、足を運ばなかったり、ずいぶんご無沙汰と
なった方々に、もう一度懐かしい思い出に浸って
いただくきっかけとして、メルマガをお届けするこ
とにいたしました。

今回は、同窓会を積極推進してくれる同窓会委員の
中から、6名の方に編集委員となっていました。
原稿依頼や自ら執筆に尽力いただきました。5月・7
月・9月の3回にわたって皆さんにお届けします。

第一回の今回は、クラブ活動の特集です。卒業アル
バムを繰って数えてみると45個のクラブが我々の年
代には存在していました。その中から8つのクラブの
ご紹介をしてみたいと思います。限られた字数の中でお届
けできる情報に限りがありますが、続きは11月7日
で語れるようにと考えております。皆さんの参加の一
助になれば幸いです。

編集委員一同

<下記は第一回36才同窓会写真です>



平成5年4月11日 京都市立堀川高校昭和49年度卒業生同窓会 於 パークホテル

今後の同窓会スケジュール

| | |
|----------|-----------------|
| 5月下旬 | 第一回メルマガ発行 |
| 6月11日（木） | 第一回堀ゴルクラブコンペ |
| 6月下旬 | 有志京都・東京合同台湾ツアー |
| 7月下旬 | 第二回メルマガ発行 |
| 9月上旬 | 古希同窓会正式案内 |
| 9月19・20日 | 宿泊BBQ会（近江舞子） |
| 9月下旬 | 第三回メルマガ発行 |
| 11月7日（土） | 古希同窓会（12時30分開宴） |

地学部の思い出



月明かりの無い満天の星空の下、ペルセウス流星群の観測を目的とした地学部の夏合宿は私の一番の思い出だ。当時は京都の街中でも3等星まで見ることが出来たが、視界の広がる丹後半島の経ヶ岬の高台にリュックを背負って遠征した。同行の先輩の中に二人女性がいたが話かけられなかった。深夜、敷かれたグラウンドシートの上に寝っ転がり北東の空に向かって一時間に40ヶ程度出現する流星の数をカウントする地味な観測だったが、皿木先生が自家用車で運ばれた高校所有の反射望遠鏡があった事は紅三点であった。高感度フィルムを装填した一眼レフカメラでの撮影結果は現像後判明で、~~昨今のデジカメ機能の素晴らしさを知る身としては、卒業アルバムと共に懐古に浸れる事柄だ。~~校舎の屋上での観測の時とは違い薄暗い廊下や階段を歩く恐怖感はなく爽快であった。強面の夜間生が屋上にやって来て望遠鏡で地上を覗いたエピソードもあったような。アルバムに写る皿木先生と10名は、部長NT君、部員HA君TI君KO君YO君AH君と私の7名と3人の後輩と分かったが、思えばNT君とは卒業後一度も逢っていない。古稀同窓会で是非NT君を交え7名全員で地学部の思い出を語り合いたい!! 私事：卒業後、天は趣味のカメラで、地はセラミック関連の仕事と岩や地面を歩くワンゲル活動と言うことで地学に染まった人生だったなと思う。余談であるが、全学年同窓会東京支部の懇親会で化石探索に熱中されている地学部先輩に声がけされ驚喜した。最後に本寄稿のサポートをしてくれたYO君に多謝!!

「地学部の思い出」 令和8年5月13日 <藤井 幹也>

ユネスコクラブな日々

ユネスコは国連の機関で、クラブでも世界遺産の模型を作ったり、古切手を集めたりしました。顧問は国語科の小谷先生。今となっては何をしていたのか思い出せないものの日々是好日でした。先輩たちと仲が良かったけど、後輩には冷淡だったなど今頃反省。

堀川ユネスコは、各地から修学旅行に来る皆さんを案内するという京都の高校ならではの裏のお役目があったせいか他府県で有名でした。群馬の桐生高校や東京の教育大付属駒場高校、広島大学付属高校などの人を案内していました。半世紀経った今もその内の何人かと友だちなのはユネスコのご縁です。

ユネスコ憲章の前文に〈戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない〉とあります。高校生の時も感動したけれど、今ますますこの言葉は大事だと思っています。以上、同窓会の人集めには役立ちそうにない個人の感想でした。 <古澤（中村）夕起子>



楽しかった堀川高校美術部の思い出



僕は堀川高校の思い出と言えば楽しいことばかりが頭に浮かびます。その中でも美術部で過ごした時間は一生忘れることが出来なんでしょう。

美術の顧問はI先生（通称ガンタ）でしたが、忌野清志郎の歌“ぼくの好きな先生”に出てくるようなユニークな先生で、絵の指導は大胆であり、木炭画や油絵を原型を留めず塗りつぶされたのを覚えています。しかしこの指導が的確で、これが美の壺だと納得できるものだったのです。その指導のおかげで何人かの部員が美大や教育学部へ進学し、その後美術を専門とする職に進めたことは大きな成果だと感銘します。そして日曜ごとに行く写生や夏合宿では、大きなキャンパスに向き合っ美しい自然の中で自由に油絵の筆を走らせる。こんな体験は今の僕では到底考えられない時間です。ここまでが表事情ですが、更に楽しかったのが部員達で思いっきり遊んだ裏事情です。美術の部員は男女、学年を問わずとても仲がよく、部活動の時間以外にもしょっちゅうつるんで遊びに行っていました。日本各地の高校が参加する合同夏合宿では、絵の成果はともかく、ゲーム大会では優勝するし、夜の自由時間は他の高校から怖がられるほど騒ぎまくっていました（これが堀川高校全体の本分でしょう）。また同学年は男性が多かったのですが、下級生は何故か圧倒的に女性が多く、青春を謳歌するには絶好の場であり、多くの恋が芽生えたり、振られたりしていました。

僕は美術部で過ごした時間を通して、友情という言葉と仲間と過ごす時間の楽しさを学びました。これは堀川高校でなければ得られなかったこととしみじみ思っています。同窓会で再び仲間たちと出会って、“ウラリ変わってへんなあ”、“あほか。こんなジジイの高校生いたら怖いわ”とばか話できるのを本当に心待ちにしています。またあの良き時代に戻って、ばか話に花を咲かせましょう！

<浦上達彦>

バスケットボール部女子 の思い出



- ★ 高校からバスケットを始めた私は足の母指球のママの皮むけの洗礼を受ける(薄皮の下で脈打ってる)
- ★ 昼練のため早弁をしなければならなかった。そのせいか5時間目の睡魔には勝てなかった
- ★ 土曜日に公式戦がよく有り、公欠届を出しに行ったら「授業に付いてこれるか」心配された。テストで結果を出さねば！安心してもらった
- ★ 「やた」のカレーそば安くてすいたお腹にはありがたかった。ちょっと張り込んで「大賀」、「京一」の餡かけ系のうどんもおいしかったなあ休講が2時間続きならソフトクリームも奮発
- ★ 遠征先で左薬指を突き指したまりこ！ぱんぱんに腫れてるのに次の日も試合に…
- ★ 綾部での合宿。宿舎のお寺と体育館の1日2回のランニングは練習よりもつらかった。でも先頭を走るK-コはもっと辛かっただろうなあ
- ★ 合宿で地元の中학생と試合。負けた！悔しかった！
- ★ 合宿最終日は綾部のお祭り。打ち上げ花火がきれいだった。「ヤッター」心も打ち上げだあ
- ★ OG戦では現役が勝たしてもらえない。先輩の多くはバスケットを引退されていたのに、楽しそうにコミュニケーション取りながらプレイされる。こっちはこんなに頑張っているのに…「もっと練習がんばりや」と言われる。
- ★ 後で知ったことだが、女子バスケットが並んで歩いていると周りから怖がられてたとか…他の女子部とどこが違うねん！？
- ★ インターハイ予選で勝ち進んだ時、負けたチームから千羽鶴を「私たちの分も頑張ってきてください」と託された。勝つこと責任みたいなものを感じた。
- ★ インターハイ出場が決まり、九州へ飛行機で行く。なんとインターハイ出場より初飛行機に感動。
- ★ 女子バスケット部の数少ない恋バナ。何故か、洛南高校男子バスケット部員2名と女子バスケット部2名のダブルデート!! その後、部室で「どうやった、どうやった」の質問攻撃!! プレイ面での思い出は他の人に語ってもらおう～11月7日の同窓会で振り返りましょう。

<(落ちこぼれバスケット部員)J子&N美>

思い出のバスケット ボール部(男子)



今でも鮮明に記憶に残るかけがえのない青春の日々。エピソードシリーズで振り返りたいと思います。

バスケ部員はじめ同窓生の皆さん、11月7日(土)に集い、当時を語り合しましょう。

【エピソードその1】 昭和47年4月堀川高校バスケットボール部に入部した我々は5月の京都高校総合体育大会一年生の部(Dブロック)で見事優勝。そのご褒美でバスケットボール部顧問のS賀先生に四条大宮(王将の隣り)の京一でラーメンを御馳走になる。

【エピソードその2】 体育館の使用が出来ない日は將軍塚や御所へのランニング。ある日の御所往復ランニング。当時ランニングに自信のあったA君は一番で学校に帰るべく急いで御所を出発するも学校到着は一番最後であった。何故か？<少し長くなるので理由はよろしければ同窓会で!!>

【エピソードその3】 高校2年時、あわやテレビに!!6月のインターハイ京都府予選。一学年上が3人しかいない我々男子チームでしたが、トントン拍子に勝ち進み、準決勝の同志社戦。前半途中までリードしハーフタイムに。すると、どこからか「このまま勝ったら、明日の決勝は洛南とテレビ中継や!」そんな夢のような話がちょっと現実味を帯びてくると、それまで伸び伸びやっていた皆の動きがどこか硬くなってきた。残念ながら、終わってみれば、79対68と惜敗。でもベスト4!!

【番外編エピソードその1】 女性の話に乏しかった我々ですが、なんとバレンタインデーに手編みのマフラーをいただいた部員がいます。2名も!!<よろしければ同窓会で!!>

【番外編エピソードその2】 バスケだけが青春と思っていた我々ですが、「どうしても彼女がほしい」と積極的に告白を試みた勇氣ある部員が2名も・・・<これも了解が得られれば同窓会で!!>

【番外編エピソードその3】 B君、高校一年の時、通学途中に女子中学生に呼び止められ、「交換日記」を頼まれる。そのような経験のない本人は言われるままに交換を続け、その女子中学生は見事、堀川高校に合格。しかし、合格後は自然消滅。お互い卒業50年後、堀川全体同窓会で再会を果たす。

<これは、どうでしょう。本人の胸にしまっておくということで> <菅生 泰典>

堀川高校バレーボール部 の思い出



<男子の部>

- ①バレー部の夏合宿、T君は合宿練習の昼休みに、裸になって背中を焼いていた。帯同していた怖いOBに大目玉を食らっていた。
- ②合宿の夜、反省会のようなミーティングに怖いOBは、部員の回りをのし歩く、お寺を借りての合宿で、鐘に頭をぶつけてゴーンと響いた。普通大爆笑の場面だが、誰一人笑えなかった。
- ③怖いOBのワンマン練習。OBの打つスパイクをひたすらレシーブ。どんどん距離が近づいてきて、最後は30cmの距離に（そんなに近くによらなくても!!!）。
- ④K君は、Y君に「バレー部はボーリングやピンボール行ったりして楽しいぞ」と唆されて入部。方針が変わったのか、ちっとも遊びは無かったと今でもぼやく。
- ⑤顧問のM先生は、頑丈なブロック板を作って、スパイクに立ち塞がった。気持ちよくスパイクを打って決めたら大きな壁グンと伸びてきてシャットアウト。
- ⑥テレビアニメ（実写も交え）「ミュンヘンへの道」始まる。刺激を受けたK先輩は、ゴムの付いたボールを導入。ボールを回して、ウレタンの上で皆フライングレシーブの練習を開始。フライングレシーブでは、顎が割れるほど傷だらけになったが、平行してやった逆立ちは上達。コートを歩いて往復できるようになった。
- ⑦練習は苦しかったけど、結果につながったことも多くて今は楽しい思い出ばかり。

<曾根 泰彦>

堀川高校バレーボール部の思い出



<女子の部>

私が入部した時2年生はいなくて3年生だけでした。1年生と3年生で秋頃まで練習をしていました。

私事ですぐ全然バレーボールの経験はありませんでしたが大胆にも入部したのは同じ中学校の人達が大勢男子も女子も入部されたので安心感が湧いて入部しました。すでに1年生の春休みから練習に加わっていた同級生もおられました。部員も多く楽しい部活が始まりました。

1年の夏休みの合宿はOBの方々も多く参加され今までにない厳しい練習が行われそれに加えて多くの注意を皆んなが受けました。合宿は楽しかったのですが少し身体も心も疲れた事を思い出します。

女子は3年生が練習に来られなくなってからOBの方が練習を見てくださる事になり本格的に1年生だけのチーム作りが始まりました。

私は2年生の途中から男子と女子のマネージャーをすることになりまた選手と違った立場でバレーボールと関わる事になりました。マネージャーになった夏の大会で男子が優勝候補だった高校に勝利してベスト8になりました。メチャクチャ皆んな喜びました。その光景が今しっかり蘇ります。

こんな事あんな事 皆んなで

話せば53~4年前の事がつい最近の事のように思い出せます。

古希の同窓会で会って話してあの頃の事楽しく蘇らせませんか

To Be Continued 11/7 皆で思い出語ろうよ!

<清水(馬場崎)典子>

堀川高校硬式テニス部の思い出



男子6人、女子4人で、運動部では珍しく男女一緒に練習をしていた。今でも交流が続いている男女仲の良いクラブ。団体戦は叶わなかったが、個人では複数名インターハイ、国体に出場。

特に、2年生の時に近畿大会でシングルス4人、ダブルス2組が予選を勝ち抜き出場、まさしく強豪校だった。振り回し15分で有名なハードな練習で、当時全国制覇した柳川商業も恐れるとの噂だった。また、女子先輩へのボール送球が手元から10cm逸れただけでグラウンド50周走らされたのは、今となっては楽しい思い出。

コート使用がむずかしい日は、恐怖の校外ランニングで二条城周回コース、紫野高校往復コース、五条坂上の將軍塚往復コースも懐かしい。テニスコートは堀川の夜間部野球部のスパイク跡が酷く、テニスコートとは思えないデコボコ表面が幸いし(?)、イレギュラーバウンド処理に私たちは長けていた。

また、どのクラブも昔はそうだったが、練習中の飲水はご法度だった。しかし、口をゆすぐフリしながら盗み飲みした水の美味しかったこと。そして、試合では少量の水分補給は認められていて、新品のボール缶に水道水を入れて飲んでいた。ゴムの匂いのする水が、滅茶苦茶美味に感じられたことを鮮明に記憶している。

<後藤雄次・中井敏夫>